



横浜市立富岡小学校

学校だより 12月号



今年も最後の1か月となりました

校長 浅野 修一

早いもので、明日はもう師走。今年も残すところあと1か月となりました。これから年の瀬に向けてさらに寒さも厳しさを増してくる中、新型コロナウイルスだけではなくインフルエンザの感染にも注意が必要という声も聞かれます。これまでやってきた感染対策を継続しながら、自分と周りの人の健康を守る行動と気持ちをもち続けていきたいものですね。

さて12月4日～10日は、法務省人権擁護機関が定める人権週間となっております。人権週間とは1948年12月10日に世界人権宣言が国際連合で採択されたことを記念して、12月10日の人権デーを最終日とする1週間を人権週間として定め、人権尊重思想の普及高揚のための啓発運動を全国的に展開する期間となっております。これまで富岡小学校では、横浜市人権教育基本理念の5つの重点取組の中から「自尊心を育む取組」と「他者の思いに寄り添う心情を育む取組」に焦点をあて、

「やさしい心をもち、みんなが安心できる学校にしよう」

という具体的目標を立てて人権尊重の精神を基盤とする教育を進めてまいりました。

今年は12月8日～14日を本校の人権週間として、最終日の14日に人権集会を行う予定にしています。人権集会ではこれまでに各学年で「校内子ども会議」を行い、そこで決めた取組について各学級の代表が全校にテレビ放送で発表します。他の学級の取組からよいところを見つけ、自分たちの取組に取り入れていけるよう指導してまいります。一人ひとりが自尊感情を高めるとともに、他者の思いに寄り添える優しい心を育ててほしいと思っています。

11月も学校や地域でいろいろな行事を行うことができました。11月8日には5年生が「区球技大会」を行いました。これまでの2年間は新型コロナウイルス感染防止のため中止となっていましたので、3年ぶりの開催となりました。当日は天候にも恵まれ、並木第一小学校5年生とサッカー、バスケットボールで交流試合を行いました。大きな声での応援はできませんでしたが、その分大きな拍手で応援していました。勝ち負けにこだわることなく、お互いのいいプレーに拍手を送っていました。相手校が帰るときに校門で見送りましたが、両校ともとてもいい笑顔で挨拶を交わしていたのが印象的でした。久しぶりにコロナ前の風景に出会えて、懐かしさとともにとっても清々しい気持ちになりました。

また11月12日には、地域防災拠点訓練・防災フェスタが富岡小校庭で行われました。こちらも天気に恵まれ、たくさんの地域の方々に参加いただきました。放水体験では、水圧による反動にびっくりする子どもたちが多くいましたが、消防団の皆さんに支えていただきながら、安全に貴重な体験をすることができました。他にも体育館で避難所の区割り訓練や防災トイレの展示、炊き出し訓練など、災害時には必ず必要になることについて、訓練を通して知ることができました。災害はいつ起こるかわかりません。今回の防災拠点訓練や毎月1回行っている学校での避難訓練などで、いざという時に自分や他人の命を守る行動を身につけることが大切だと改めて感じました。

最後になりましたが、11月26日に予定しておりました「発表とみおかタイム」が延期となり、皆様にはご心配をおかけしました。また延期の決定が直前となりご迷惑をおかけしました。申し訳ありません。新型コロナウイルス感染状況も第8波に入ったという報道を耳にします。今後もその時々々の学校全体の感染状況を見極めながら、行事や日々の教育活動を進めてまいります。皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。